

機能ID	意見の分類 (選択可+複数)	新規意見区分 (選択可+複数)	要件		意見の概要		運用想定	移行プロセス 大分類 (選択可+複数) 要件群	対応方針 大分類 (選択可+複数) 要件群	要件修正方針 (追加、修正、削除、変更なし、要検討)	構成員権限 (WT) 要否 (共有、意見照合)	対応内容	回答業務 (地方団体構成員)	検討結果
			修正前	修正後	分類 (選択可+複数)	詳細								
0150209	①: 要件追加	②: 前記記載意見	・換領決定執行日	・換領決定執行日 ・換領報告有無日	④: 実行業務拡張・実行機種の拡張	国稅徴収法第9条の2ほか、法令上の表現は「換領執行決定」であるため、「換領決定執行日」は「換領執行日」に修正すべきである。 また、換領報告の有無、報告年月日を管理することで、正確な事実把握を可能とするため。	換領報告の有無、報告年月日を管理することで、正確な事実把握を可能とするため。	④: 実行システムでは使用していない機能	変更なし	共有		〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)	用途を修正する。	
0150282	②: 表現の見直し	②: 前記記載意見	不納欠損について、延滞金部分を集計できること	不納欠損について、確定延滞金部分を集計できること	⑤: 業務精度向上	確定延滞金について不納欠損処理を行っているため	不納欠損を行った確定延滞金を管理するため	⑤: スケラッチ開発で実装	要検討	共有	4.1版の変更内容ではないため、5.0版の全国集計開始会前に対応する。	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)		
150350	②: 要件変更	②: 前記記載意見	滞納者に対する滞納処分停止情報の管理 (設定・保持・修正) ができること。 ・滞納処分停止情報 ・起算年月日 ・決起年月日 ・滞納処分停止種類 (無財産、生活困窮、所在不明、即時消滅) ・滞納処分停止理由 ・執行停止年月日 ・取消決起年月日 ・取消決起年月日 ・滞納処分停止取消年月日 ・取消理由 ・管理番号 等	滞納者に対する滞納処分停止情報の管理 (設定・保持・修正) ができること。 ・滞納処分停止情報 ・起算年月日 ・決起年月日 ・滞納処分停止種類 (無財産、生活困窮、所在不明、即時消滅) ・滞納処分停止理由 ・執行停止年月日 ・取消決起年月日 ・取消決起年月日 ・滞納処分停止取消年月日 ・取消理由 ・管理番号 等	⑤: 業務精度向上	地方税法第15条の7のとおり、「滞納処分停止」が正しいため、「執行停止」は「滞納処分停止」に修正すべきである。		④: スケラッチ開発で実装	反映する	共有	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)	用途を修正する。		
150264	②: 要件変更	②: 新規意見	滞納処分停止を取消する期別について、任意に選択できること。滞納処分停止要件を満たした期別は、自動で選択されていること。また、滞納処分停止要件を満たさない期別については、手動で滞納処分停止期別として選択できること。	滞納処分停止を取消する期別について、任意に選択できること。滞納処分停止要件を満たした期別は、延滞金を含めて自動で選択されていること。また、滞納処分停止要件を満たさない期別については、手動で滞納処分停止期別として選択できること。	⑤: 業務精度向上	導入した標準化滞納システムにおいて、「滞納処分停止」について計算延滞金が選択できない。(帳簿にも印字できない) ペンダーとしては実行の発注システム標準仕様書では、延滞金の選択有無は明記されておらず必須ではないと解釈している。期別停止における必須要件と考えられ、延滞金に関しても明記すべきと考ええる。なお、滞納処分停止のみならず、他の処分時の期別選択においても、計算延滞金が計算・選択できる旨が実現されることが望ましい。	滞納処分停止時に計算延滞金を含めた未納額で滞納者へ通知するため。	④: 実行システムでパッケージ標準で実装している機能	要検討	共有	4.1版の変更内容ではないため、5.0版の全国集計開始会前に対応する。	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)		
150332	②: 要件変更	②: 新規意見	以下の個人情報、測定情報、収納情報、分割納付督促情報、滞納処分情報等を滞納管理画面で確認できること。また、滞納処分費を管理できること。	以下の個人情報、測定情報、収納情報、分割納付督促情報、滞納処分情報等を滞納管理画面で確認できること。また、滞納処分費を管理できること。	⑤: 業務精度向上	導入した標準化滞納システムにおいて、各種表示はされているものの、最新情報が表示されないもの (送戻・再交付等があるにもかかわらず回収日が表示されない等) がある。ペンダーは「情報表示は実装されたが、情報更新までは仕様書に明記されておらず、必須ではないと解釈」しており、「最新情報が確認できること」が明記されるべき。なお、機能ID: 0150332以外の情報表示においても同様の意見。	滞納者情報管理において、対象者の現状把握をするため。	④: 実行システムでパッケージ標準で実装している機能	要検討	共有	4.1版の変更内容ではないため、5.0版の全国集計開始会前に対応する。	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)		
0150363	②: 表現の見直し	②: 新規意見	取付及び徴収票から照会があった滞納情報に対する照会をする際に、「滞納事務用データ作成支援ツール」で用いるCSVファイルを作成・出力できること。	「滞納事務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要がありますと考えます。	⑤: 業務精度向上	「滞納事務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないため		④: 実行システムでパッケージ標準で実装している機能	変更なし	共有	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)	以下の通り修正する。 ID150363: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」 ID150362: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」 ID150364: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」		
0150364	②: 表現の見直し	②: 新規意見	取付及び徴収票に対して滞納情報に照会をする際に、「滞納事務用データ作成支援ツール」で用いるCSVファイルを作成できること。	「滞納事務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要がありますと考えます。	⑤: 業務精度向上	「滞納事務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないため		④: 実行システムでパッケージ標準で実装している機能	変更なし	共有	〔要件〕: (意見なし) 〔K市〕: (意見なし) 〔C市〕: (意見なし) 〔D市〕: (意見なし) 〔B市〕: (意見なし) 〔H市〕: (意見なし) 〔N市〕: (意見なし) 〔M市〕: (意見なし) 〔O市〕: (意見なし) 〔A市〕: (意見なし) 〔地方税共同機構〕: コンコネのまじん、(ツラナ執行): (意見なし) 〔総務省統括システムズ〕: (意見なし)	以下の通り修正する。 ID150363: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」 ID150362: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」 ID150364: 滞納税務用データ作成支援ツールが何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。→「滞納税務用データ作成支援ツール」が何を指しているのかわからないので、用語集に追加するか特定できる表現に変更する必要があります。」		

